

1 基本方針の策定について

本校は学校教育目標を「心豊かに たくましく 学びを深めあえる子の育成 ～ ふるさとを愛し 夢を育む学校づくり～」とし、主体的・対話的な深い学びによって児童に確かな学力と多様な他者と協働できる力を付けていくことを目指している。児童一人一人の自尊感情や多様性を尊重する態度を身に付けさせるためには、良好な人間関係が必要であり、いじめはそのことを阻む極めて重要な要因になる。すべての児童が安心して元気に学校生活を保障するためにいじめの未然防止の取組、早期発見への手立て、万が一いじめがあった場合の早期対応方策及び指導体制を構築し、いじめを許さない学校づくりをめざす「いじめ防止基本方針」を策定する。

2 いじめへの対応について

(1) 校内組織の設置

未然防止、早期発見・早期対応について、具体的に実施計画・実施体制を策定する。スクールカウンセラー、管理職を含めた生活指導推進・いじめ対策委員会を中心に、校内相談窓口の整備・周知、情報収集と記録、迅速な対応、対策の検証・改善等に組織的に取り組む。また、学校評価を効果的に活用し、組織的対応の取組を評価することに努める。

(2) いじめの未然防止

「いじめは、どこの学校でも起こりうる」という認識のもと、いじめを許さない人権文化が育まれた学校をつくる。教育活動全体を通じて児童の豊かな心を育成するために、多くの教職員が関わる教科指導、全ての児童が参加・活躍できる授業づくり、生命尊重や規範意識を育む道徳教育、人権意識を高める人権教育、人間関係を構築する特別活動を充実させる。また、いじめに対して正しく理解し、互いに認め・支え・助け合う学級・学校づくりに努める。カウンセリングマインドを身につけ、教職員のいじめの認知や対応能力の向上に向けスクールカウンセラーと連携していじめの未然防止を図る。

(3) いじめの早期発見

日頃より児童の様子を観察し、いじりやからかいも見過ごすことなく早期発見に努める。各学期に1回、いじめアンケート・担任による教育相談を実施し、児童の人間関係を把握したり悩みを聴いたりする機会を設ける。児童と教師との信頼関係を構築し、相談しやすい姿勢や体制づくりによる早期発見に努める。また、生活指導委員会、職員会議等で児童の様子について情報交換を密に行い、組織的な対応に努める。ネットいじめに対しては、学校外で行われ問題になることが多いため、児童の会話から情報を得るだけでなく、保護者や地域住民とも連携をとっていく。教育センターやいじめ防止センターとも連携しながら早期発見についての方策について研鑽を積んでいく。

(4) いじめ事案への対応と組織について

いじめの疑いに関する情報を把握した場合やいじめを認知した場合は、教職員がひとりで抱え込まず、校長、教頭、生活指導担当者を中心にしたプロジェクトチームを召集し、児童への指導方策・情報収集や保護者への相談内容等を協議し、共通理解の下に対応する。また、職員会議にて指導方策や指導状況について共通理解を図り、学校全体で組織的な対応を行い、早期の解決にあたる。全ての事案について、教育委員会やいじめ防止センター、ネットいじめに対しては教育センターなどの専門的機関からの助言を頂き、適切に対応を図り解決にあたる。

3 いじめの未然防止、早期発見、早期対応に向けた取組と年間指導計画

月	職員会議等	未然防止に向けた取組	早期発見に向けた取組
4	職員会議 生活指導推進・いじめ対策委員会 ◇基本方針の確認 ◇いじめ対応マニュアルの確認 ◇年間計画	人権教育の年間計画 道徳教育の年間計画	児童の情報交換 学級懇談会 個人懇談会
5	生活指導推進・いじめ対策委員会	生活チェックの取組 人権ポスター・人権作文 ・人権標語の取組	児童の情報交換
6	生活指導推進・いじめ対策委員会	人権週間	いじめアンケートの実施 教育相談 児童の情報交換
7	生活指導推進・いじめ対策委員会	社会を明るくする運動の取組	児童の情報交換 個人懇談会
8	小中連携職員研修	小中連携職員研修	児童の情報交換
9	生活指導推進・いじめ対策委員会	生活チェックの取組	児童の情報交換
10	生活指導推進・いじめ対策委員会		児童の情報交換 いじめアンケートの実施 教育相談
11	生活指導推進・いじめ対策委員会	人権週間 二校交流事業	児童の情報交換
12	生活指導推進・いじめ対策委員会		児童の情報交換
1	生活指導推進・いじめ対策委員会	生活チェックの取組	児童の情報交換
2	生活指導推進・いじめ対策委員会 小中連携職員研修	吉川町四校人権交流学習会	いじめアンケートの実施 教育相談 児童の情報交換
3	生活指導推進・いじめ対策委員会 ◇本年度のまとめ ◇来年度への課題検討 ◇基本方針の見直し	幼保小中連携引継ぎ	児童の情報交換

*上記の生活指導推進・いじめ対策委員会で、いじめ事案の有無について毎回協議する。

*プロジェクトチームのメンバーは、校長・教頭・生活指導担当者が相談して選出する。